

## 2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月15日

上場会社名 株式会社東陽テクニカ 上場取引所 東  
コード番号 8151 URL <https://www.toyo.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野 俊也  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松井 俊明 (TEL) 03-3279-0771  
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 2024年6月11日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年9月期第2四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	20,368	31.5	3,332	121.5	3,364	110.9	2,477	117.2
2023年9月期第2四半期	15,486	10.5	1,504	△26.8	1,594	△30.0	1,140	△28.5

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 2,506百万円( 154.1%) 2023年9月期第2四半期 986百万円( △33.5%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年9月期第2四半期	110	75	110	25
2023年9月期第2四半期	49	55	49	26

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	45,539		30,174		66.1	
2023年9月期	39,954		28,313		70.6	

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 30,096百万円 2023年9月期 28,219百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
2023年9月期	円	銭	円	銭	円	銭
2024年9月期	—	22.00	—	32.00	54.00	
2024年9月期(予想)	—	25.00	—	37.00	62.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	34,500	22.5	3,350	127.5	3,400	88.8	2,500	63.0	111	53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	26,085,000株	2023年9月期	26,085,000株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	3,669,345株	2023年9月期	3,734,499株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	22,372,752株	2023年9月期2Q	23,026,618株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	13
(重要な後発事象)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当期は中期経営計画“TY2024”の最終年度であり、期初の業績予想（売上高320億円、営業利益30億円）及び同計画で掲げてきた経営目標の一つであるROE8.0%以上の達成に向けて成長戦略を推進しております。

当第2四半期連結累計期間においては、物性／エネルギー事業がカーボンニュートラル分野の活況を受け、多数の大型案件を売上計上するなど引き続き好調に推移しました。また、機械制御／振動騒音事業で米国におけるAD（自動運転）/ADAS（先進運転支援システム）開発向けの大型案件の計上に加え、第3四半期に予定していた国内の同大型案件や、ほかの事業で第3四半期以降に計画していた複数の高額案件を前倒しで計上できたことにより、連結売上高は203億6千8百万円（前年同期比31.5%増）となりました。この内、国内売上高は182億6千7百万円（前年同期比26.3%増）、中国や米国向けを中心とした海外売上高は21億1百万円（前年同期比105.7%増）でした。

利益面におきましては、売上高の増加による増収効果、価格の見直しなどによる高利益率案件の増加、為替変動影響の抑制や販売費及び一般管理費のコントロールなどにより、前年同期に比べ大幅に増加しました。営業利益は33億3千2百万円（前年同期比121.5%増）、経常利益は33億6千4百万円（前年同期比110.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億7千7百万円（前年同期比117.2%増）となりました。

受注高については機械制御／振動騒音事業、海洋／特機事業が大きく増加したことにより、176億2千万円（前年同期比12.2%増）となりました。一方、受注残高は当第2四半期に売上計上が前倒しで進捗したことから、前年同期並みの157億2千9百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

事業セグメントごとの業績は、次のとおりです。

#### (情報通信／情報セキュリティ)

情報通信／情報セキュリティ事業におきましては、情報通信分野の大手通信事業者向けネットワーク性能試験や新規ビジネスが伸長しました。また、サイバーセキュリティ分野のサービスプロバイダー案件が堅調に推移しました。この結果、売上高は43億8千万円（前年同期比12.7%増）、セグメント利益は4億4千7百万円（前年同期比37.1%増）となりました。

#### (機械制御／振動騒音)

機械制御／振動騒音事業におきましては、AD/ADAS開発向けの米国大型案件が第1四半期に納入となり、国内においても第3四半期に予定していた同大型案件を前倒しで計上しました。そのほかにも複数の前倒し案件を第2四半期に計上したこと、価格の見直しによる利益率の改善などがあり、売上高、セグメント利益ともに大幅に増加しました。この結果、売上高は49億8千2百万円（前年同期比90.8%増）、セグメント利益は15億3千9百万円（前年同期比337.5%増）となりました。

#### (物性／エネルギー)

物性／エネルギー事業におきましては、電池の充放電測定システムで複数の大型案件を計上したほか、基礎電気化学測定システムの大型案件を前倒しで計上するなど非常に好調に推移し、売上高、セグメント利益ともに大きく増加しました。この結果、売上高は59億5百万円（前年同期比42.6%増）、セグメント利益は15億9千1百万円（前年同期比40.2%増）となりました。

#### (EMC／大型アンテナ)

EMC／大型アンテナ事業におきましては、前倒しで計上された案件はあったものの、前年同期は中国のコロナ感染鎮静化により出荷が増大したことで、今期の売上高は減少しました。一方、国内販売の利益率が改善したことなどにより、セグメント利益は増加しました。この結果、売上高は27億7千9百万円（前年同期比5.2%減）、セグメント利益は3億7千5百万円（前年同期比54.4%増）となりました。

(海洋／特機)

海洋／特機事業におきましては、大型案件や前倒し案件の計上などにより前年同期に比べ売上高が増加しました。また、増収効果によりセグメント利益も増加しました。この結果、売上高は7億8千3百万円（前年同期比6.5%増）、セグメント利益は1億1千6百万円（前年同期比59.1%増）となりました。

(ソフトウェア開発支援)

ソフトウェア開発支援事業におきましては、ゲーム開発に用いられるバージョン管理ツールのライセンス販売が引き続き堅調に推移したことにより、売上高、セグメント利益ともに増加しました。この結果、売上高は10億7百万円（前年同期比20.8%増）、セグメント利益は2億2百万円（前年同期比30.3%増）となりました。

(ライフサイエンス)

ライフサイエンス事業におきましては、前期の第3四半期より連結対象となったレキシー社における整形外科デジタルプランニングツールの販売が堅調に推移したことに加え、経費を抑制したことにより、売上高、セグメント利益ともに増加しました。この結果、売上高は5億3千万円（前年同期比53.4%増）、セグメント利益は1億6百万円（前年同期比80.4%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ55億8千4百万円増加し、455億3千9百万円となりました。主な増加要因は、受取手形、売掛金及び契約資産の増加59億2千5百万円、のれんの増加14億5千4百万円、有価証券の増加12億5千6百万円です。一方、主な減少要因は、建物及び構築物（純額）の減少18億9千6百万円、土地の減少18億2千2百万円です。

負債は、前連結会計年度末に比べ37億2千3百万円増加し、153億6千4百万円となりました。主な増加要因は、短期借入金の増加50億5千5百万円、支払手形及び買掛金の増加12億3千6百万円、未払法人税等の増加7億1千1百万円です。一方、主な減少要因は、前受金の減少40億6千万円です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ18億6千万円増加し、301億7千4百万円となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加17億6千9百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億6百万円です。一方、主な減少要因は、繰延ヘッジ損益の減少8千万円です。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ13億4千3百万円増加し、40億3百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

資金の主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益33億8千2百万円及び仕入債務の増加額11億7千5百万円によるものです。一方、資金の主な減少要因は、売上債権及び契約資産の増加額55億3千万円及び契約負債の減少額4億5千6百万円によるものです。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは2億5千3百万円の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

資金の主な増加要因は、投資有価証券の売却による収入11億6千8百万円及び有形固定資産の売却による収入4千6百万円によるものです。一方、資金の主な減少要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出17億2千2百万円及び有形固定資産の取得による支出13億7千4百万円によるものです。

この結果、投資活動によるキャッシュ・フローは26億9千6百万円の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

資金の主な増加要因は、短期借入れによる収入50億円によるものです。一方、資金の主な減少要因は、配当金の支払額7億1千5百万円によるものです。

この結果、財務活動によるキャッシュ・フローは42億8千3百万円の増加となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、期初の通期業績予想に対する進捗率が売上高で約63%となり、営業利益では既に期初予想を上回るなど好調に推移したことから、直近の受注状況を踏まえて通期業績予想の見直しを行いました。今後の見通しにつきましては、第3四半期以降に計画していた複数の高額案件を前倒しで第2四半期に計上したことに加え、引き続きさらなる円安進行が憂慮されるものの、下期においても利益は確保できると見ており、通期業績予想を以下のとおり修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	32,000	3,000	3,200	2,300	102.91
今回修正予想(B)	34,500	3,350	3,400	2,500	111.53
増減額(B-A)	2,500	350	200	200	-
増減率(%)	7.8	11.7	6.3	8.7	-
(ご参考)前期実績 (2023年9月期)	28,172	1,472	1,800	1,534	67.50

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,659,402	3,710,990
受取手形、売掛金及び契約資産	4,534,727	10,460,168
電子記録債権	478,318	325,325
有価証券	1,367,886	2,624,648
商品及び製品	4,554,835	4,252,301
その他	3,123,836	3,442,508
貸倒引当金	△2,700	△3,760
流動資産合計	16,716,306	24,812,184
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,342,783	2,952,585
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,663,757	△2,170,284
建物及び構築物（純額）	2,679,025	782,300
車両運搬具	10,936	18,175
減価償却累計額	△6,764	△14,458
車両運搬具（純額）	4,171	3,716
工具、器具及び備品	4,280,167	5,182,933
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,489,211	△4,310,110
工具、器具及び備品（純額）	790,956	872,823
土地	6,808,541	4,985,869
建設仮勘定	5,701,970	6,595,653
有形固定資産合計	15,984,666	13,240,363
無形固定資産		
のれん	267,691	1,721,865
ソフトウェア	707,159	798,938
ソフトウェア仮勘定	189,840	98,989
その他	72,516	127,743
無形固定資産合計	1,237,208	2,747,537
投資その他の資産		
投資有価証券	3,531,680	2,200,850
退職給付に係る資産	628,570	645,007
繰延税金資産	725,242	778,972
長期預金	700,000	700,141
その他	464,494	447,541
貸倒引当金	△33,328	△33,186
投資その他の資産合計	6,016,659	4,739,326
固定資産合計	23,238,533	20,727,226
資産合計	39,954,840	45,539,410

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,666,125	2,902,257
短期借入金	—	5,055,739
未払法人税等	427,615	1,139,517
契約負債	2,855,790	2,694,180
前受金	4,060,080	—
賞与引当金	772,094	1,142,095
役員賞与引当金	66,000	32,590
その他	977,583	1,281,151
流動負債合計	10,825,289	14,247,531
固定負債		
退職給付に係る負債	672,063	811,894
その他	143,536	305,106
固定負債合計	815,600	1,117,000
負債合計	11,640,890	15,364,531
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,158,000	4,158,000
資本剰余金	4,603,500	4,603,500
利益剰余金	23,995,345	25,765,239
自己株式	△4,496,633	△4,417,897
株主資本合計	28,260,212	30,108,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△53,726	52,835
繰延ヘッジ損益	129,858	49,110
為替換算調整勘定	△125,467	△118,154
退職給付に係る調整累計額	8,494	4,247
その他の包括利益累計額合計	△40,841	△11,961
新株予約権	94,580	77,998
純資産合計	28,313,950	30,174,878
負債純資産合計	39,954,840	45,539,410



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	15,486,664	20,368,996
売上原価	9,053,036	11,362,540
売上総利益	6,433,628	9,006,456
販売費及び一般管理費	4,928,844	5,673,633
営業利益	1,504,784	3,332,822
営業外収益		
受取利息	52,808	27,503
受取配当金	15,901	8,440
和解金	118,541	—
保険解約返戻金	9,396	25,231
その他	35,447	34,071
営業外収益合計	232,095	95,247
営業外費用		
支払利息	330	2,416
投資事業組合運用損	54,985	13,954
為替差損	65,805	39,130
持分法による投資損失	1,570	8,084
その他	19,286	212
営業外費用合計	141,978	63,798
経常利益	1,594,901	3,364,271
特別利益		
固定資産売却益	15,036	3,429,551
投資有価証券売却益	70,789	10,054
特別利益合計	85,825	3,439,606
特別損失		
固定資産処分損	858	20,439
固定資産圧縮損	—	3,400,997
特別損失合計	858	3,421,437
税金等調整前四半期純利益	1,679,868	3,382,440
法人税、住民税及び事業税	498,436	947,372
法人税等調整額	40,540	△42,799
法人税等合計	538,977	904,573
四半期純利益	1,140,890	2,477,867
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,140,890	2,477,867

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	1,140,890	2,477,867
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68,959	106,562
繰延ヘッジ損益	△115,132	△80,748
為替換算調整勘定	△16,582	6,734
退職給付に係る調整額	23,357	△4,247
持分法適用会社に対する持分相当額	22,932	579
その他の包括利益合計	△154,385	28,880
四半期包括利益	986,505	2,506,747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	986,505	2,506,747
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,679,868	3,382,440
減価償却費	383,044	461,797
のれん償却額	13,251	61,941
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,530	758
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△45,000	354,462
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△36,500	△33,410
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△3,326	9,454
受取利息及び受取配当金	△68,709	△35,944
保険解約返戻金	△9,396	△25,231
支払利息	330	2,416
和解金	△118,541	—
持分法による投資損益 (△は益)	1,570	8,084
投資事業組合運用損益 (△は益)	54,985	13,954
有価証券売却損益 (△は益)	△59	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△70,789	△10,054
固定資産除売却損益 (△は益)	△14,177	△3,409,112
固定資産圧縮損	—	3,400,997
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△2,582,899	△5,530,318
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△257,646	459,903
仕入債務の増減額 (△は減少)	305,799	1,175,195
契約負債の増減額 (△は減少)	△801,131	△456,120
その他	147,130	190,057
小計	△1,424,727	21,272
利息及び配当金の受取額	89,359	43,166
保険解約返戻金の受取額	9,396	25,231
利息の支払額	△330	△2,416
法人税等の支払額	△142,565	△342,710
法人税等の還付額	831	1,794
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,468,035	△253,661
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	—	△368,026
有価証券の売却による収入	1,010,150	10,180
有形固定資産の取得による支出	△637,445	△1,374,390
有形固定資産の売却による収入	45,831	46,130
無形固定資産の取得による支出	△183,016	△219,223
投資有価証券の取得による支出	△264,281	△267,198
投資有価証券の売却による収入	1,734,564	1,168,544
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△288,096	△1,722,966
その他	93,652	30,946
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,511,358	△2,696,003

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	5,000,000
自己株式の取得による支出	△1,102,991	△1,334
配当金の支払額	△702,341	△715,216
ストックオプションの行使による収入	47	18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,805,285	4,283,467
現金及び現金同等物に係る換算差額	△50,934	10,099
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,812,896	1,343,902
現金及び現金同等物の期首残高	3,787,571	2,659,402
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,974,675	4,003,304

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	情報通信/ 情報セキュリティ	機械制御/ 振動騒音	物性/エネルギー	EMC/ 大型アンテナ
売上高				
一時点で移転される財またはサービス	3,047,701	2,395,289	4,135,294	2,834,046
一定期間にわたり移転される財またはサービス	839,825	216,020	4,651	98,555
顧客との契約から生じる収益	3,887,526	2,611,310	4,139,946	2,932,602
売上高	3,887,526	2,611,310	4,139,946	2,932,602
セグメント利益	326,546	351,828	1,135,274	243,427

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	海洋/特機	ソフトウェア 開発支援	ライフサイエンス	
売上高				
一時点で移転される財またはサービス	634,562	365,653	274,155	13,686,702
一定期間にわたり移転される財またはサービス	100,973	468,297	71,637	1,799,961
顧客との契約から生じる収益	735,536	833,951	345,792	15,486,664
売上高	735,536	833,951	345,792	15,486,664
セグメント利益	73,218	155,758	58,867	2,344,921

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,344,921
全社費用(注)	△840,137
四半期連結損益計算書の営業利益	1,504,784

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない営業費用のほか、引当金の計上方法による差異等が含まれています。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	情報通信/ 情報セキュリティ	機械制御/ 振動騒音	物性/エネルギー	EMC/ 大型アンテナ
売上高				
一時点で移転される財またはサービス	3,401,711	4,724,946	5,860,015	2,724,326
一定期間にわたり移転される財またはサービス	978,550	257,676	22,720	55,501
顧客との契約から生じる収益	4,380,261	4,982,623	5,882,736	2,779,828
その他の収益(注)	—	—	22,504	—
売上高	4,380,261	4,982,623	5,905,241	2,779,828
セグメント利益	447,689	1,539,184	1,591,124	375,839

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	海洋/特機	ソフトウェア 開発支援	ライフサイエンス	
売上高				
一時点で移転される財またはサービス	677,092	424,902	440,665	18,253,661
一定期間にわたり移転される財またはサービス	100,973	582,550	89,720	2,092,830
顧客との契約から生じる収益	783,202	1,007,452	530,385	20,346,491
その他の収益(注)	—	—	—	22,504
売上高	783,202	1,007,452	530,385	20,368,996
セグメント利益	116,509	202,913	106,202	4,379,464

(注) 「その他の収益」は、リースに係る収益等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	4,379,464
全社費用(注)	△1,046,641
四半期連結損益計算書の営業利益	3,332,822

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない営業費用のほか、引当金の計上方法による差異等が含まれております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「機械制御／振動騒音」セグメントにおいて、Rototest International AB の全株式を取得したことにより、第1四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては1,276,875千円であります。なお、のれんは取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりです。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。